

科学技術関係人材専門調査会の進め方について

1 検討課題例

(1) 科学技術関係人材の需給

- ・ 職種別（研究者、研究支援者、技術者等）
- ・ 分野別
（特に産業界等における人材のニーズの把握）

(2) 科学技術関係人材の育成・確保方策

- ・ 大学の学部教育の在り方
- ・ 大学院教育の在り方
- ・ 高等学校と大学、大学と社会の接続
（入学者選抜、大学の一般教育、就職等）
- ・ 若手研究者の育成・支援、研究者のキャリア・パス
- ・ 技術者教育
（大学教育と社会人の再教育。技術経営の教育を含む）
- ・ 多様な人材の活用
（女性、高齢者、外国人、在外日本人研究者等）
- ・ 産業界と大学の相互協力による教育の充実
（インターンシップ、社会人の再教育等）
- ・ 人材育成・確保のための研究環境の整備

(3) 科学技術関係人材の裾野の拡大

- ・ 青少年の科学技術・理科離れ対策
（学校教育、多様な学習機会等）
- ・ 国民の理解増進
（多様な学習機会、科学ジャーナリズム等）

2 調査・検討期間

専門調査会発足後、約 1 年間でとりまとめ。
必要に応じて中間的にとりまとめを行う。